

2019年7月11日

各 位

会 社 名：日本エンタープライズ株式会社  
 代表者の役職名：代表取締役社長 植田勝典  
 (コード番号 4829 東証第一部)  
 問合せ先責任者：常務取締役 田中勝  
 T E L：03-5774-5730

## 子会社の株式評価損計上、2019年5月期の通期連結業績予想と実績値との差異 及び個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年5月期連結累計期間におきまして、子会社の株式評価損を計上するとともに、2018年7月11日に公表した2019年5月期連結業績予想と本日公表の実績において差異が生じたのでお知らせいたします。また、個別業績における前期実績値との差異についてもあわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 子会社の株式評価損の計上について

当社連結子会社である「いなせり株式会社」は、豊洲場内に店を構える仲卸事業者約500社※が所属する東京魚市場卸協同組合(所在地:東京都中央区、理事長:早山豊)との共同事業である、鮮魚・水産物の飲食事業者向けECサービス『いなせり』の企画・開発・運営を専ら行うことを目的として、2016年6月3日に設立した当社の連結子会社です。

設立当初においては、2016年11月7日に予定されていた豊洲市場開場に時期を合わせて『いなせり』を開始する計画をしていましたが、その後の移転延期により、築地市場を拠点とした限定的なサービス提供を余儀なくされ、当該子会社の事業収支は当初の計画を大きく下回る状況となり、2018年5月期個別決算において、評価損(75百万円)を特別損失に計上しております。

その後、2018年10月11日の豊洲市場の開場に合わせサービス拠点を移し、『いなせり』の活性化に向けた取り組み強化に加え、一般消費者向けECサービス『いなせり市場』の提供を開始いたしました。顧客ニーズに合った商材の見直し、配送の効率化など課題が多く、直ちに累損が解消できるとは言い難い状況であるため、誠に遺憾ながら2019年5月期連結決算において、ソフトウェア資産の減損損失(45百万円)、同個別決算において株式評価損(105百万円)を特別損失として計上することといたしました。

なお、今後におきましては、引き続き、『いなせり』及び『いなせり市場』における対象顧客層の拡大、取扱量の増大を図るとともに、新たなサービス等事業領域の拡大に向けた取り組みに注力してまいります。

#### <子会社の概要>

(1) 名 称	いなせり株式会社
(2) 所 在 地	東京都渋谷区渋谷 1-17-8
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 植田 勝典
(4) 事 業 内 容	東京魚市場卸協同組合 公式電子商取引サービス『いなせり』の企画・開発・運営 一般消費者向けECマーケット『いなせり市場』の開発・運営
(5) 資 本 金	100百万円
(6) 設 立 年 月 日	2016年6月3日
(7) 株 主 構 成	日本エンタープライズ株式会社 (100%)

※東京魚市場卸協同組合の組合員数・・・487 事業所(2019年5月1日現在)

## 2. 連結業績予想と実績値との差異

2019年5月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2018年6月1日～2019年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
予想値(A)	百万円 3,895	百万円 285	百万円 345	百万円 175	円 銭 4.36
実績値(B)	3,413	242	292	97	2.44
増減額(B-A)	△481	△42	△52	△77	
増減率(%)	△12.4	△15.0	△15.2	△44.1	
(ご参考)前期実績 (2018年5月期)	3,892	174	257	166	4.11

### <差異の理由>

売上高につきましては、企業向けの受託開発は増勢に推移したものの、新しいソリューション事業(端末周辺事業)の創出に時間を要し、2018年2月に事業譲渡した広告代理サービス(店頭アフィリエイト)の売上消失分を補うまでに至らなかった他、いなせり株式会社の売上高が計画を下回った等が主な要因となり、当初予想を下回る結果となりました。

営業利益・経常利益につきましては、上述した通り、売上高が不足する中、コスト削減に努めたものの、当初予想を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、減収の他、当社連結子会社「いなせり株式会社」のソフトウェア資産の減損損失(45百万円)を計上したことなどにより、当初予想を下回る結果となりました。

## 3. 個別業績の前期実績値との差異

2019年5月期通期個別業績と前期実績値との差異(2018年6月1日～2019年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績値(A) (2018年5月期)	百万円 1,619	百万円 122	百万円 12	円 銭 0.32
当期実績値(B) (2019年5月期)	1,255	150	13	0.34
増減額(B-A)	△363	28	0	
増減率(%)	△22.5	23.6	7.1	

### <差異の理由>

当事業年度における業績につきましては、予想を含めて開示を省略しておりましたが、以下の理由により、前事業年度の実績値との差異が生じる見込みとなりましたので、開示いたします。

売上高につきましては、企業向けの受託開発は増勢に推移したものの、新しいソリューション事業(端末周辺事業)の創出に時間を要し、2018年2月に事業譲渡した広告代理サービス(店頭アフィリエイト)の売上消失分を補うまでに至らなかったため、前期実績値より大きく下回る結果となりました。

経常利益、当期純利益につきましては、採算性の低い広告代理サービス(店頭アフィリエイト)の事業譲渡による利益率の改善とともに、コスト削減に努めた結果、前期実績値より上回る結果となりました。

以上